

## 掛川市との「健康増進協定」や

## 三重県明和町との「友好交流協定」に新時代が！

### 【多田新市長誕生おめでとうございます】

3月28日に館林市長選挙があり、上毛新聞に「明和町長は新人の候補者を支援している」と書かれ、お陰で大変な選挙戦に巻き込まれてしまいました。私は前職が不動産業です。多田候補者も不動産業を営んでおりましたから、仕事を通じて古くから交流があり信頼もしている館林市の県議会議員でした。もちろん県議会議員選挙でも応援をしておりました。今回、館林市長選挙に出馬すると聞き、個人的には応援をしておりました。しかし、新聞に書かれると公の立場で応援していると勘違いされるものですが、当選されて本当に良かったです。旧知の仲ですから、新しい道路建設の話などもよりスムーズに進むものと期待をしております。

また、館林市とは厚生病院経営や衛生施設（ゴミ、し尿処理）そして消防で広域行政を担い、地域の住民の皆様と密着したサービスを共同で行っておりますので、さらに連携を深めていきたいと思っております。

邑楽館林医療事務組合(公立館林厚生病院と館林看護学校)は、館林市、板倉町、千代田町、大泉町、邑楽町、明和町の1市5町で運営されております。

館林地区消防組合(消防署関係)は、館林市、板倉町、千代田町、邑楽町、明和町の1市4町で運営されております。

館林衛生施設組合(館林ゴミ焼却施設、板倉町リサイクルセンター、明和町最終処分場)は、館林市、板倉町、明和町の1市2町で運営されております。

多田新市長が就任の挨拶に明和町を訪れた際、明和町と掛川市で取り交わしている「健康増進協定」の話になりました。館林藩主であった太田資俊すけとしが徳川家重(9代将軍)の命により掛川藩に移り長く治めたことから、掛川藩と館林藩とは歴史的に深い関わりがありました。そこで、館林市としても「健康増進協定」を結びたいとのことで、仲立ちをお願いされました。今後も掛川市との交流が楽しみです。

## 【三重県明和町と人事交流を開始】

三重県明和町めいわちょうとのつながりは、江口在住だった柿沼治正氏(故人)が地図を見て明和村(当時)と同じ「明和」が三重県にある事を発見し、昭和61年(1986年)9月に伊勢神宮を参拝した帰りに立ち寄ったことが始まりでした。お陰で交流が始まり、現在に繋がっていくわけです。

三重県明和町の面積は41.04平方キロ、人口は23,049人(2021.4月現在)の町です。面積も人口も群馬県明和町のおよそ2倍です。



### 【三重県 明和町 齋王まつり】

そして、平成11年（1999年）6月5日に友好交流協定を結び、スポーツ団体交流や文化団体交流が盛んに行われました。平成25年（2013年）1月に災害時相互応援協定を結びさらに緊密な連携をしておりました。

三重県明和町は伊勢神宮の門前町として栄えた地域です。松坂市と伊勢市に挟まれた山間部では松阪牛の肥育が盛んで、ブランド牛を扱っている高収入農家があります。また、平野部では伊勢神宮への天皇の代理参拝を勤めた皇女（齋王）が住んだ遺跡があります。

「齋王」とは、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えるために選ばれた未婚の皇族女性のことです。歴史に見られる齋王制度は、天武二年(674)、壬申(じんしん)の乱に勝利した天武天皇が、勝利を祈願した天照大神に感謝し、大来皇女(おおくのひめみこ)を神に仕える御杖代(みつえしろ)として伊勢に遣わしたことに始まるそうです。以来、齋王制度は660年以上にわたって続き、60人

以上の齋王が存在しました。

それらの遺跡が沢山あるため開発が非常に難しいそうです。そして伊勢湾に臨む海岸線があり、海の幸も豊富で素晴らしい町です。南海トラフ大地震が心配されるため、大津波に備えて津波避難タワーを24億円で6カ所造られました。しかし、一部が国の補助金のため防災以外の利用が出来ないのが悩みの種となっているそうです。



### 【三重県明和町 津波避難タワー】

また、町の中心を走る国道23号線にはイオンモール明和とケーズデンキ、カインズホームがあります。そして町を走るもう1本の近畿鉄道には、齋宮駅と明星駅の二つの駅があります。





### 【三重県 明和病院（済生会） 全 景】

そして、明星駅の西側を少し行くと264床の明和病院（済生会病院）があり、生活の利便性はとても高く、三重県明和町は全てが揃っています。そんな町の良い所を学び、お互いの特徴と良い所を吸収し合うために、今年4月からは人事交流として1名を派遣いたしました。もちろん三重県明和町からも当町に1名派遣されております。これらの協定や交流により益々お互いの自治体が元気になることに期待します。

（一部、三重県明和町ホームページ <https://www.town.meiwa.mie.jp> より参考引用いたしました）

令和3年4月20日

明和町長 富塚もとしげ